

いた。 の見さが求められる。まさに「現場の女房 ち回りの良さが求められる。まさに「現場の女房 われるほど職域が広く、「職種の隙間を埋める」立 門職が存在する。「鉄筋と型枠以外はすべて」と言 門職が存在する。「鉄筋と型枠以外はすべて」と言 理職が存在する。「鉄筋と型枠以外はすべて」と言 建築の現場で仮設物の設置や鉄骨建方を担当す

野球の道をあきらめ、土木の世界へ

手として野球漬けの日々を送った。 の出身。高校時代は硬式野球部に所属し、 鳶・土工の高野秀吉は、 一九七七年、 正捕

まで勝ち進み、チームメイトには卒業後にプロ 三年時に春夏連続甲子園出場。春はベスト8 い選手が集まったんです」 「元々、ウチの高校は強豪校で、 した選手もいる。 自身はその後、 自分の代でも 社会人野

からして全然違う。『ああ、 「入った時に他の選手を見たら、 これは通用しない 体の大きさ

の仕事に生かせるところがないか、

見て学べ』

『お前、ちょっと行って見て来い。どこかに自分

て教えられました。

他の職種が作業していたら、

球の名門チームに入部したが、

の会社に就職した。 なければよかったと、今は思います」 退部後、高校時代の先輩の伝手を頼って現在

からないし、多くの道具や材料を覚えることだ とが全然通じなくて (笑)。工事のことは何もわ 「はじめは僕の訛りがひどくて、 言ってるこ

キャッチャーとしての視点を生かせる仕事

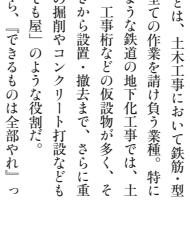
手がける「何でも屋」のような役割だ。 機を操作しての掘削やコンクリ 今回の現場のような鉄道の地下化工事では、 の資材の仮置きから設置・撤去まで、 枠以外のほぼ全ての作業を請け負う業種。 「入った時から、 「鳶・土工」とは、 工事桁などの仮設物が多く、 ート打設なども さらに重 特に

って諦めてしまって。 自ら限界の線を引か

けで精一杯でした」

′ 京急大師線連続立体交差の現場にて、的場猛所長 (左)、小山大輔工事主任 (右) と。インターンの学生も活き活きとしている。 中/既存の線路を桁化して、その下を掘削、躯体を構築する。この足場や土留め壁なども全て鳶・土工の仕事。

右/桁化された線路。この直下で、人知れず日々作業が続けられている。





守り、伝えること

職種にとらわれないのが鳶・土工

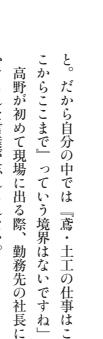
仕事に線引きをせず、できることは全部やる。



現場のプロフェッショナル **KEEP & CHANGE**

かけられた言葉が忘れられない こからここまで』っていう境界はないです

ばできる』と。 という点では、キャッチャ その時に『この仕事は野球と一緒だ。キャッチ やってたんなら、 あとはチー 視野を広く持って全体を見渡す ここでも同じことをや クが大事ということ。 ーの経験が生きてい



「最初だから車で送ってくれたんですけど、

これも野球と同じだと思います」

笹子トンネルの事故現場に駆り出されて

ホルの天井板落下事故の復旧のためだ。 とがある。二〇一二年末に発生した、笹子トン 大師線連続立体交差事業」の現場に勤務してい 二〇〇六年の着工から八年間、高野は「京急 「現場としてはもちろん出したくなかったけ 途中で別の現場に急きょ呼び出されたこ

左/"キャッチャー"の視野

の広さで、自分たちだけで なく他の業種の仕事もしっ かり見て、改善点は現場全

作業も鳶・土工ならお手の

体で直していく。 右/解体した切梁などの資 材をクレーンで吊り上げる。 こうした重機を用いた玉掛

旧をやる時にまた来てくれって言われたくらい 白人、二百人って集まって、道路を開通させる ですから」 ムワークの大切さを改めて感じました」 ためにみんなが同じ方向を向いてやれば、 大きな力が出るんだなということです。 「二カ月くらいあの現場にいて思ったのは、 高野自身にとっても貴重な経験だったようで、 大林組・的場猛所長は当時を振り返る。

「スーパー職長」の恩返し

を束ねる職長となった高野。今年は大林組の建下積み時代を経て、現在は十人以上の作業員

定基幹職長)」に選ばれた。 者として認定される「スーパー職長(大林組認 設現場で働く職長のうち、特に優秀な建設技能

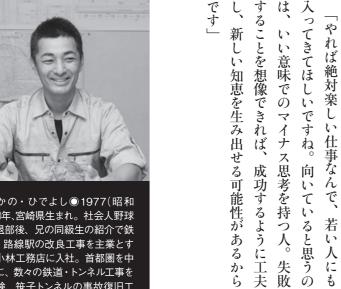
これまで以上に気を引き締めないといけませ しです。スーパー職長に選ばれたこともあり、 より良いモノをつくることが自分にできる恩返 その人たちの期待に応える意味でも、 頼してくれる所長、自分を雇ってくれた社長…。 「自分は人との出会いに恵まれています。 事故なく、

ので、それはそれですごいこと。反対車線の復 本当に気が利いて自ら動ける人だけが選ばれた ってもらいました。あの時は各地の現場から、

非常事態だし、彼にはガッツもあるので行



たかの・ひでよし◎1977(昭和 52)年、宮崎県生まれ。社会人野球 を退部後、兄の同級生の紹介で鉄 道・路線駅の改良工事を主業とする小林工務店に入社。首都圏を中 心に、数々の鉄道・トンネル工事を 経験、笹子トンネルの事故復旧工 事にも従事した。本年、スーパー職 長(大林組認定基幹職長) に選出。





CHANGE

何でも屋の鳶・土工に向いているのは、 いい意味でのマイナス思考を持つ人

21